

論述式問題に関するアンケート調査

資料を活用した論述式問題について、教師と生徒の意識及びその違いを検証し、論述式問題の作成及びその指導方法の工夫・改善に資することを目的として実施した。

実施時期：平成22年10月1日～31日  
 対象：中学校社会科教員、中学校第3学年生徒  
 人数：教員21人、生徒929人

1 教師用アンケート調査の結果

1 生徒は、資料（グラフ・表・図・絵・地図など）を読み取って、20字以上の文章で答えるような問題を得意だと思いますか、それとも苦手だと思いますか。当てはまる番号を の中に記入してください。

- (1) 得意であると思う 0%
- (2) どちらかという得意であると思う 0%
- (3) どちらかという苦手であると思う 61.9%
- (4) 苦手であると思う 38.1%

2 1で「(1)と(2)」と答えた方は、その理由を書いてください。 (解答なし)

3 1で「(3)と(4)」と答えた方は、その理由を下の ~ から選び、その番号の左の に✓を記入してください。(複数回答可)また、「 その他」を選んだ方は、その理由を書いてください。

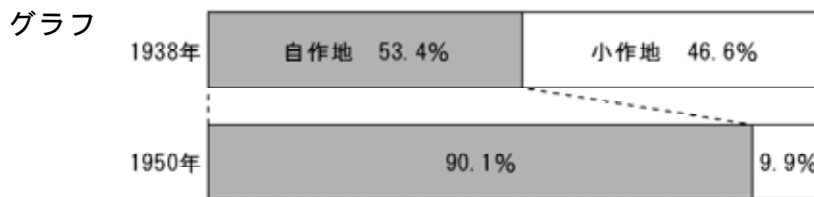
- 問題文を読むことがめんどろだと感じている生徒が多い。 28.6%
- 問題文の意味を理解するのが難しいと感じている生徒が多い。 85.7%
- (何を問われているのかが分からない、分かりにくい)
- 資料を読み取ることが苦手な生徒が多い。 52.4%
- (表、図、グラフ等の見方、変化や違いなど)
- 割合(%)が出てくると分からなくなる生徒が多い。 47.6%
- 今まで見たことがない資料が出てくると分からなくなる生徒が多い。 47.6%
- 文章にまとめるのが苦手な生徒が多い。 90.5%
- その他

4 次の例題について、生徒は難しいと感じると思いますか。下の ~ から選び、その番号の左の に✓を記入してください。(複数回答可)

【例題】

グラフは、1938年と1950年の自作地と小作地の割合をそれぞれ示している。Aこのグラフから読みとれる変化について書き、さらにBその変化が生じた理由をC原因となった政策の名称と内容にふれながら書け。その際、次の語をすべて用いること。

語 地主 小作人



(『農林省統計表』から作成)

【解答例】

自作地の割合が大幅に増えている。これは農地改革によって、政府が地主の土地を買い上げ、小作人に安く売り渡したためである。

(『平成22年度長崎県公立高等学校入学者選抜学力検査』より)

- 難しいとは感じないと思う。 9.5%
- 問題文の下線部Aが難しいと思う。 9.5%
- 問題文の下線部Bが難しいと思う。 66.7%
- 問題文の下線部Cが難しいと思う。 28.2%
- 「地主」「小作人」「自作地」「小作地」の語句の意味が分からないと思う。 38.1%
- 答えを文章で書くことが難しいと思う。 71.4%
- 問題文を理解することが難しいと思う。 38.1%

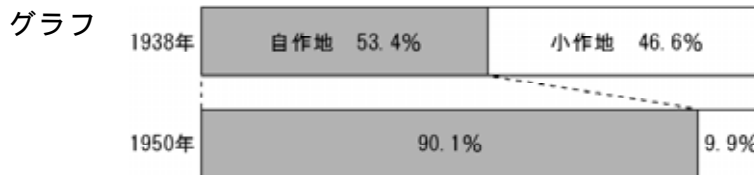
2 生徒用アンケート結果

- 1 社会科の学習は好きですか。当てはまる番号を の中に記入してください。また、そのように答えた理由を書いてください。
- |                    |       |
|--------------------|-------|
| (1) 好きである          | 18.4% |
| (2) どちらかというとき好きである | 39.8% |
| (3) どちらかというとき嫌いである | 31.4% |
| (4) 嫌いである          | 10.3% |
- 2 社会科の問題で、資料（グラフ・表・図・絵・地図など）を読み取って、20字以上の文章で答えるような問題は得意ですか、苦手ですか。当てはまる番号を の中に記入してください。
- |                       |       |
|-----------------------|-------|
| (1) 得意であると思う          | 3.8%  |
| (2) どちらかというとき得意であると思う | 12.2% |
| (3) どちらかというとき苦手であると思う | 50.9% |
| (4) 苦手であると思う          | 33.2% |
- 3 2で「(1)と(2)」と答えた方は、その理由を書いてください。 (上位5)
- |                     |    |
|---------------------|----|
| ・資料にヒントや答えが書かれてあるから | 26 |
| ・簡単だから、わかるから        | 23 |
| ・グラフを読み取りが得意である     | 15 |
| ・文章で答えるのが好き、得意      | 12 |
| ・見たことをそのまま書くだけだから   | 10 |
- 4 2で「(3)と(4)」と答えた人は、その理由を下の ~ から選び、その番号の左の に✓を記入してください。(複数回答可)また、「その他」を選んだ人は、その理由を書いてください。
- |                            |       |
|----------------------------|-------|
| 問題文を読むことがめんどろだ。            | 25.7% |
| 問題文の意味を理解するのが難しい。          | 46.3% |
| (何を問われているのかが分からない、分かりにくい)  |       |
| 資料を読み取ることが苦手である。           | 48.3% |
| (表、図、グラフ等の見方、変化や違いなど)      |       |
| 割合(%)が出てくると分からなくなる。        | 47.8% |
| 今まで見たことがない資料が出てくると分からなくなる。 | 40.3% |
| 文章にまとめるのが苦手である。            | 73.9% |
| その他                        |       |
- 5 次の例題について、難しいと感じますか。下の ~ から選び、その番号の左の に✓を記入してください。(複数回答可)

【例題】

グラフは、1938年と1950年の自作地と小作地の割合をそれぞれ示している。Aこのグラフから読みとれる変化について書き、さらにBその変化が生じた理由をC原因となった政策の名称と内容にふれながら書け。その際、次の語をすべて用いること。

語 地主 小作人



(『農林省統計表』から作成)

【解答例】

自作地の割合が大幅に増えている。これは農地改革によって、政府が地主の土地を買い上げ、小作人に安く売り渡したためである。

(『平成22年度長崎県公立高等学校入学者選抜学力検査』より)

- |                                  |       |
|----------------------------------|-------|
| 難しいとは感じない。                       | 17.9% |
| 問題文の下線部Aが難しい。                    | 13.2% |
| 問題文の下線部Bが難しい。                    | 50.1% |
| 問題文の下線部Cが難しい。                    | 42.0% |
| 「地主」「小作人」「自作地」「小作地」の語句の意味が分からない。 | 27.2% |
| 答えを文章で書くことが難しい。                  | 47.9% |
| 問題文を理解することが難しい。                  | 18.4% |

### 3 アンケート調査結果の考察

今回のアンケート調査は、質問項目を教師用と生徒用をほぼ同じものにして、論述式問題に対する教師と生徒の認識の違いを明らかにする観点を重視している。

#### (1) 教師用「質問1」と生徒用「質問2」について

教師用「質問1」

- 1 生徒は、資料（グラフ・表・図・絵・地図など）を読み取って、20字以上の文章で答えるような問題を得意だと思いますか、それとも苦手だと思いますか。

生徒用「質問2」

- 2 社会科の問題で、資料（グラフ・表・図・絵・地図など）を読み取って、20字以上の文章で答えるような問題は得意ですか、苦手ですか。  
 (1) 得意である (2) どちらかという得意である  
 (3) どちらかという苦手である (4) 苦手である

教師・生徒ともに「どちらかという苦手」「苦手」をあわせた割合が教師は100%、生徒は84%で非常に高い。これは予想されたとおりの結果である。

#### (2) 教師用「質問3」と生徒用「質問4」について

教師用「質問3」

- 3 1で「(3)どちらかという苦手であると思う、(4)苦手であると思う」と答えた方は、その理由を下の～から選び、その番号の左の□に✓を記入してください。（複数回答可）

生徒用「質問4」

- 4 2で「(3)どちらかという苦手である、(4)苦手である」と答えた人は、その理由を下の～から選び、その番号の左の□に✓を記入してください。（複数回答可）

- 問題文を読むことがめんどうだ。
- 問題文の意味を理解するのが難しい。  
（何を問われているのかが分からない、分かりにくい）
- 資料を読み取ることが苦手である。  
（表、図、グラフ等の見方、変化や違いなど）
- 割合（％）が出てくると分からなくなる。
- 今まで見たことがない資料が出てくると分からなくなる。
- 文章にまとめるのが苦手である。
- その他

教師	28.6%	85.7%	52.4%	47.6%	47.6%	90.5%
生徒	25.7%	46.3%	48.3%	47.8%	40.3%	73.9%
教師 - 生徒	2.9%	39.4%	4.0%	-0.2%	7.3%	16.6%

については26の回答があったが、少数の意見であったため省略しています。

（問題文を読むことがめんどうだ）について

文章を読むことに苦手意識を持っている生徒が約4分の1いる。問題文に出てくる社会的事象の意味を理解しているかどうかともかわりがあると考えられる。

（問題文の意味を理解するのが難しい）について

この項目は、教師と生徒の意識の差がもっとも大きかったものである。教師は9割近くが問題文の理解に問題があると考えているのに対して、生徒は半分程度しか問題文の理解が難しいとは考えていない。原因として、教師は採点等で生徒が問題文の読み取りができていない状況をつかんでいるが、生徒は自分が間違えた原因の一つとして問題文の意味を読み取れていないことに気づいていないという状況が考えられる。教師が生徒に問題文の読み取りの大切さを意識させるとともに、問題文の読解力を向上させるための手立てが必要がある。

（資料を読み取ることが苦手である）、（割合〔％〕が出てくると分からなくなる）について

教師、生徒ともに約半数が資料の読み取りと割合に苦手意識を持っているという認識がある。 の問題文の読み取りともかかわりがあり、指導の強化が必要である。

(今まで見たことがない資料が出てくると分からなくなる)について

教師の約5割、生徒の約4割が新しい資料に対して不安であるという認識を持っている。これは資料を活用した論述式の問題そのものに対する苦手意識と関係していると考えられる。様々な資料を活用する問題に触れさせることが必要であり、そのためにも論述式の問題の分類が必要だと考える。

(文章にまとめるのが苦手である)について

教師、生徒ともに、論述式の問題が苦手な原因として最も高い反応を示した項目である。教師、生徒ともに文章にまとめることが苦手であるという認識があり、日常の授業の中で文章にまとめるトレーニングを行うことが必要であると考える。特に、理由を答えるのか、結果を答えるのか、影響を答えるのか、単純な資料の読み取りなのかによって解答の書き方が変わってくることを生徒に理解させる必要があると考える。

### (3)教師用「質問4」と生徒用「質問5」について

教師用「質問4」

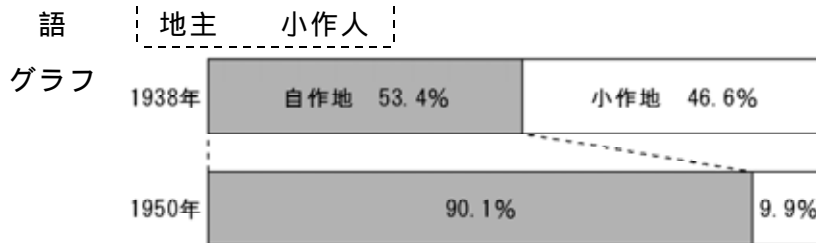
4 次の例題について、生徒は難しいと感じると思いますか。下の ~ から選びその番号の左の に✓を記入してください。(複数回答可)

生徒用「質問5」

5 次の例題について、難しいと感じますか。下の ~ から選び、その番号の左の に✓を記入してください。(複数回答可)

#### 【例題】

グラフは、1938年と1950年の自作地と小作地の割合をそれぞれ示している。Aこのグラフから読みとれる変化について書き、さらにBその変化が生じた理由をC原因となった政策の名称と内容にふれながら書け。その際、次の語をすべて用いること。



(『農林省統計表』から作成)

#### 【解答例】

自作地の割合が大幅に増えている。これは農地改革によって、政府が地主の土地を買い上げ、小作人に安く売り渡したためである。

(『平成22年度長崎県公立高等学校入学者選抜学力検査』より)

難しいとは感じない。

問題文の下線部Aが難しい。

問題文の下線部Bが難しい。

問題文の下線部Cが難しい。

「地主」「小作人」「自作地」「小作地」の語句の意味が分からない。

答えを文章で書くことが難しい。

問題文を理解することが難しい。

教師	9.5%	9.5%	66.7%	28.6%	38.1%	71.4%	38.1%
生徒	17.9%	13.2%	50.1%	42.0%	27.2%	47.9%	18.4%
教師 - 生徒	-8.3%	-3.7%	16.6%	-13.4%	10.9%	23.5%	19.7%

(難しいとは感じない)について

この例題は『平成22年度長崎県公立高等学校入学者選抜学力検査』で出題され、正答率が9.3% (不完全51.4%)の問題である。難しいとは感じないと答えた生徒(17.9%)の中には文章で答えるのが苦手な生徒が存在するため、正答率はこれよりも下がると考えられる。

(問題文の下線部A『このグラフから読みとれる変化について書き』が難しい)について

この問題のグラフの読み取りはかなり簡単なものだと言える。ここで注目すべきことは、教師が考えるよりも多くの割合の生徒がグラフの読み取り方に不安を持っていることである。その差は小さいが、教師は簡単なグラフの読み取りに対しても、このくらいはできるだろうと考えずに丁寧な指導を心がけることが必要である。

(問題文の下線部B『その変化が生じた理由』が難しい)について

生徒にとって最も難しいと感じる項目である。グラフの読み取りが難しいと感じる生徒が多い(3 - が48.3%)中で、さらにその変化の理由を問う問題となっている。この問題は農地改革について、グラフの変化の理由と結びつけながら説明するというものである。農地改革の語句の意味を説明できる生徒は、ほぼ答えることができる問題であると思われる。この項目に対して難しいと反応した生徒が5割以上である原因としては、資料を読み取ってある社会的事象と結びつけて考えることの難しさと、基礎的な歴史語句の定着が不十分であることが考えられる。社会的事象の意味や意義を理解させるとともに、それを説明できる力を身に付けさせることが必要である。

(問題文の下線部C『原因となった政策の名称』が難しい)について

教師が考えている以上に「農地改革」という基本的な語句が生徒に定着しておらず、教師と生徒の意識に大きな開きがある。ここは以上に教師は認識を改め、基本的な語句の定着に向けて、授業の改善を行う必要があると考えられる。その上で、文章で答えさせるためには基本的な語句の意味や意義を使った文章を書くトレーニングが必要であろう。また、「農地改革」と「地租改正」、「御成敗式目」と「武家諸法度」など語句の意味を混同しやすいものについては、より丁寧な指導が必要であると考えられる。

(「地主」「小作人」「自作地」「小作地」の語句の意味が分からない)について

と同じ基本的な語句に関する質問であるが、教師と生徒の反応がとは逆になっている。漢字から意味が推測できる語句については、比較的定着しやすいのではないかと考えられる。

(答えを文章で書くことが難しい)について

教師と生徒の反応に大きな差がある。教師は文章で書くこと自体に大きな課題があると判断しているが、生徒にとっては ~ の項目にかかわる様々な要素が関係しており、その上に文章で書くという難しさが加わっているという見方ができる。文章を書くトレーニングだけでは論述式の問題には対応できないということであり、基本用語の理解や資料の読み取り方という基礎的・基本的な知識・技能の定着が大切であると考えられる。

(問題文を理解することが難しい)について

教師が思っているほど生徒は問題文の理解を意識していないことがわかる。これは生徒が問題文を十分に理解している生徒が多いとも取れるが、生徒用アンケート調査「質問4」の考察でも述べたように、問題文の正確な読み取りに対する生徒の意識が低いこととも関係していると考えられる。

#### (4)まとめ

今回のアンケート調査から、論述式の問題に対する教師と生徒の苦手意識が明らかになったとともに、教師と生徒の認識に差があることもわかった。多くの項目については生徒よりも教師の反応が高いことから、教師側の論述式の問題への意識の高さがうかがえる。しかし、グラフの読み取りと基本的な語句の定着については、教師が考えるよりも多くの生徒が不安を抱えている。生徒は文章を書くことに苦手意識を持っているが、ただ単に文章を書かせるだけでは論述式の問題には対応できない。問題文の読み取り方、基本的な語句の理解、資料の読み取り方などについて、これまで以上に丁寧な指導を行う必要があると考えられる。